

## 別紙

## I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	今馬見原線道路改良工事	山都町	6,000,000	6,000,000	総事業費 10,962,000

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	今馬見原線道路改良工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		山都町		
交付金事業実施場所		熊本県 上益城郡 山都町 長崎 地内		
交付金事業の概要	<p>今馬見原線は、蘇陽峡周辺に位置しており、地域住民の生活道及び観光ルート(長崎鼻展望所)として利用されています。しかし、一部未改良区間があること、幅員が2.5~3.5mと狭小であることから、車輛の離合や大型車の通行に支障をきたしています。そのため、住民及び観光客の利便性と安全の確保を目的として、全体事業L=686.2m(1工区302.3m、2工区383.9m)の道路改良工事に平成20年度から取り組んでいます。本年度は183.5mの改良工事に交付金を充当します。</p> <p>施工延長 L=183.5m          掘削 V=949.5m<sup>3</sup>          法面植生工 A=330.0m<sup>2</sup>          排水構造物工 69.2m          舗装工 A=641.2m<sup>2</sup></p>			
総事業費	10,962,000	交付金充当額	6,000,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	6,000,000	
交付金事業の成果目標	当路線は、蘇陽峡周辺に位置しており、地域住民の生活道及び観光ルート(長崎鼻展望所)として利用されています。しかし幅員狭隘な区間があり車両の離合、大型車両の通行に支障をきたしています。交通事故の危険性もあり、道路改良により改善を図り利便性の向上に努めます。			
交付金事業の成果指標	全体事業L=686.2m(1工区302.3m、2工区383.9m)の道路改良工事を行います。平成28年までに1工区280.7mの施工(一部暫定)しており、平成29年度に1工区L=120.0mの、改良・舗装および、2工区L=63.5mの改良(暫定施工)を行う予定です。29年度末には1工区を完了させ、全体事業の47%の完了を目指します。			
交付金事業の成果及び評価	平成29年度は、1工区L=120.0mの、改良・舗装および、2工区L=63.5mの改良(暫定)を行い、町道の幅員狭小、急カーブ等を解消しました。これにより、蘇陽峡への大型バスの通行が可能となり、観光客数の増加や、周辺施設(服掛松キャンプ場、馬見原商店街)の利用者の増加及び地域住民の生活道路としての安全確保、利便性の向上にも寄与し、地域住民の福祉の向上につながるものと評価しています。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	道路整備	指名競争入札	株式会社 尾上建設	10,962,000
		計		10,962,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		
		平成35年度		